

モデル処理システムの主要諸元

		現行踏襲案		リサイクル推進案		現有施設積極活用案
		ケース1	ケース2 (埋立処分委託)	ケース3	ケース4 (埋立処分委託)	ケース5 (埋立処分委託)
概要		現行の処理システムの施設構成を踏襲する案。 最終処分場整備の有無によりケース分け。		現行の処理システムに対して、リサイクルを推進するため生ごみメタンガス化施設を整備する案。 最終処分場整備の有無によりケース分け。		最終処分場を含めて現有施設をできるだけ延命化し積極的に活用する案。
現有施設延命化方針	第一工場	方針：基幹改良 (R6~8) 延命化目標：R23	方針：基幹改良 (R6~8) 延命化目標：R18	方針：基幹改良 (R6~8) 延命化目標：R23	方針：基幹改良 (R6~8) 延命化目標：R18	方針：基幹改良 (R6~8、R21~23) 延命化目標：-
	第二工場	方針：修繕 延命化目標：R8	同左	同左	同左	方針：修繕 延命化目標：-
	リサイクルプラザ	方針：修繕 延命化目標：R23	方針：修繕 延命化目標：R18	方針：修繕 延命化目標：R23	方針：修繕 延命化目標：R18	方針：修繕 延命化目標：-
	最終処分場	方針：延命化対策なし				
新施設等整備方針	焼却施設 ストーカ方式 全連続焼方式	稼働開始：R24 施設規模：247t/日 処理対象物：燃やせるごみ	稼働開始：R19 施設規模：254t/日 処理対象物：燃やせるごみ	稼働開始：R24 施設規模：焼却施設 240t/日 メタンガス化 25t/日 処理対象物：燃やせるごみ	稼働開始：R19 施設規模：焼却施設 240t/日 メタンガス化 25t/日 処理対象物：燃やせるごみ	-
	リサイクル施設	稼働開始：R24 施設規模：44.37t/日 処理対象物：燃やせないごみ、粗大ごみ、缶・びん・ペットボトル、有害ごみ	稼働開始：R19 施設規模：46.38t/日 処理対象物：燃やせないごみ、粗大ごみ、缶・びん・ペットボトル、有害ごみ	稼働開始：R24 施設規模：44.37t/日 処理対象物：燃やせないごみ、粗大ごみ、缶・びん・ペットボトル、有害ごみ	稼働開始：R19 施設規模：46.38t/日 処理対象物：燃やせないごみ、粗大ごみ、缶・びん・ペットボトル、有害ごみ	-
	最終処分場 クローズド型	稼働開始：R15、R30 埋立容量：162,000、156,000m ³ 埋立対象物：焼却残渣、不燃残渣、直接搬入ごみ、道路清掃土砂	施設整備なし (現有施設活用) 埋立対象物：直接搬入ごみ、道路清掃土砂	稼働開始：R15、R30 埋立容量：162,000、156,000m ³ 埋立対象物：焼却残渣、不燃残渣、直接搬入ごみ、道路清掃土砂	施設整備なし (現有施設活用) 埋立対象物：直接搬入ごみ、道路清掃土砂	-
	民間委託	-	埋立対象物：焼却残渣、不燃残渣	資源物：紙・布類	資源物：紙・布類 埋立対象物：焼却残渣、不燃残渣	埋立対象物：焼却残渣、不燃残渣